

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年4月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ピーエスシー

コード番号 3649 URL http://hos.ne.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相原 輝夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 藤田 篤 TEL 089 (947) 3388

四半期報告書提出予定日 平成26年5月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の業績（平成26年1月1日～平成26年3月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第1四半期 | 898 | 57.3 | 424 | 104.8 | 427 | 104.7 | 264 | 104.7 |
| 25年12月期第1四半期 | 571 | 27.8 | 207 | 14.2 | 208 | 14.6 | 129 | 23.8 |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期第1四半期 | 30.54 | 29.83 |
| 25年12月期第1四半期 | 14.94 | 14.57 |

(注) 平成26年1月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年12月期第1四半期 | 2,413 | 2,020 | 83.7 | 233.29 |
| 25年12月期 | 2,194 | 1,842 | 84.0 | 212.76 |

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 2,020百万円 25年12月期 1,842百万円

(注) 平成26年1月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、1株当たり純資産は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期 | 0.00 | - | 0.00 | 20.00 | 20.00 |
| 26年12月期 | 0.00 | - | - | - | - |
| 26年12月期（予想） | - | - | 0.00 | 10.00 | 10.00 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 平成26年1月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、平成26年12月期（予想）の期末年間配当金は、当該株式分割前の20.00円に相当いたします。

3. 平成26年12月期の業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 1,075 | 9.8 | 291 | 8.5 | 295 | 8.9 | 182 | 9.0 | 21.02 |
| 通期 | 2,870 | 20.5 | 1,169 | 43.5 | 1,187 | 41.6 | 736 | 42.1 | 84.98 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年12月期1Q | 8,660,400株 | 25年12月期 | 8,660,400株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年12月期1Q | 47株 | 25年12月期 | —株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年12月期1Q | 8,660,371株 | 25年12月期1Q | 8,648,000株 |

（注）平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第1四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |
| 4. 補足情報 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社の事業は、医療システム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績の記載は省略しております。

当第1四半期累計期間における我が国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の影響もあって、個人消費は増加し、企業収益や雇用情勢が改善する中で、企業収益にも持ち直しの動きがみられました。

当社が市場とする医療業界におきましては、少子高齢化の加速に伴う疾病構造の変化に応じた「病院完結型」医療から「地域完結型」医療への転換期に差し掛かっており、地域連携機能やヘルスケア分野も含めたICT化が今後の実質的な必須要件となりつつあります。また、経済産業省の「医療の国際化」や厚生労働省の医療制度改革等の推進により、市場規模の一層の拡大に期待感が高まっており、政府の取組みにおいても医療分野のICT化は重要施策の一つとして取り上げられるなど、今後も医療情報システム市場はさらなる成長を続けていくものと考えられます。

このような環境の中、当社では、大学病院をはじめとする大規模病院や総合病院等への医療用データマネジメントシステムClaioやClaioシリーズ製品（※1）、院内ドキュメント作成／データ管理システムDocuMaker及び可搬電子媒体（PDI）入出力システムPDI+ MoveBy等の販売・導入に注力するとともに、代理店による診療所への電子カルテREMORAの導入にも積極的に取組み、病院案件24件及び診療所案件33件の新規・追加導入を行いました。主力製品であるClaioやDocuMakerが引続き堅調に導入実績を伸ばす中、C-ScanやPDI+ MoveByの販売も増加しており、1案件あたりの導入規模の拡大にも貢献しております。

この結果、当第1四半期累計期間における当社の売上高は、898,564千円（前年同期比57.3%増）となりました。また、営業利益は424,949千円（同104.8%増）、経常利益は427,722千円（同104.7%増）、四半期純利益は264,461千円（同104.7%増）となりました。

研究開発活動については、まったく新しいアプローチにより、小規模病院及び診療所市場において新たな需要を創出・拡大すべく、第3四半期のリリースに向けて調整中であります。

※1. 紙カルテ／文書アーカイブシステムC-Scan、カルテ記事記載システムC-Noteなど、Claioと連携することで院内データの一元管理を実現する「画像と文書の統合ソリューション」群であります。

※2. 画面上に表示されたテキストを高速かつ正確に認識する新技術であります。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は、2,413,551千円となり、前事業年度末と比較して219,154千円の増加となりました。これは、主に現金及び預金の増加230,579千円による流動資産の増加221,959千円の増加によるものであります。

負債は、393,217千円となり、前事業年度末と比較して41,435千円の増加となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加25,377千円による流動負債の増加31,660千円によるものであります。

純資産は、2,020,334千円となり、前事業年度末と比較して177,719千円の増加となりました。これは、主に利益剰余金の増加177,857千円の増加によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年2月14日に公表しました「平成25年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」の数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成25年12月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成26年3月31日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 782,374 | 1,012,954 |
| 受取手形及び売掛金 | 824,986 | 849,024 |
| 商品 | 40,434 | 25,721 |
| 仕掛品 | 699 | 5,940 |
| その他 | 55,129 | 31,943 |
| 流動資産合計 | 1,703,624 | 1,925,584 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 67,632 | 67,051 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 318,935 | 314,053 |
| その他 | 344 | 344 |
| 無形固定資産合計 | 319,279 | 314,397 |
| 投資その他の資産 | 103,860 | 106,519 |
| 固定資産合計 | 490,772 | 487,967 |
| 資産合計 | 2,194,397 | 2,413,551 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 48,452 | 73,829 |
| 未払法人税等 | 170,485 | 167,742 |
| その他 | 122,211 | 131,238 |
| 流動負債合計 | 341,149 | 372,810 |
| 固定負債 | | |
| その他 | 10,633 | 20,407 |
| 固定負債合計 | 10,633 | 20,407 |
| 負債合計 | 351,782 | 393,217 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 247,669 | 247,669 |
| 資本剰余金 | 217,669 | 217,669 |
| 利益剰余金 | 1,377,294 | 1,555,151 |
| 自己株式 | — | △137 |
| 株主資本合計 | 1,842,633 | 2,020,353 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △19 | △19 |
| 評価・換算差額等合計 | △19 | △19 |
| 純資産合計 | 1,842,614 | 2,020,334 |
| 負債純資産合計 | 2,194,397 | 2,413,551 |

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

| | 前第1四半期累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年3月31日） | 当第1四半期累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年3月31日） |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 571,117 | 898,564 |
| 売上原価 | 223,088 | 311,955 |
| 売上総利益 | 348,028 | 586,609 |
| 販売費及び一般管理費 | 140,577 | 161,659 |
| 営業利益 | 207,450 | 424,949 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 55 | 69 |
| 助成金収入 | 1,386 | 3,500 |
| その他 | 124 | 12 |
| 営業外収益合計 | 1,565 | 3,581 |
| 営業外費用 | | |
| 株式交付費 | 80 | 808 |
| 営業外費用合計 | 80 | 808 |
| 経常利益 | 208,936 | 427,722 |
| 税引前四半期純利益 | 208,936 | 427,722 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 70,271 | 164,728 |
| 法人税等調整額 | 9,462 | △1,467 |
| 法人税等合計 | 79,733 | 163,260 |
| 四半期純利益 | 129,202 | 264,461 |

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社の事業は、医療システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

当社の事業は、医療システム事業の単一のセグメントであります。

（1）経営管理上重要な指標の推移

| | | 第29期 第1四半期累計期間 | 第30期 第1四半期累計期間 | 第29期 |
|-----------------|------|-------------------|-------------------|-----------|
| 売上高 | (千円) | 571,117 | 898,564 | 2,382,635 |
| 営業利益 | (千円) | 207,450 | 424,949 | 814,766 |
| 経常利益 | (千円) | 208,936 | 427,722 | 838,367 |
| 四半期（当期）純利益 | (千円) | 129,202 | 264,461 | 517,836 |
| 純資産 | (千円) | 1,454,014 | 2,020,334 | 1,842,614 |
| 総資産 | (千円) | 1,697,906 | 2,413,551 | 2,194,397 |
| 1株当たり純資産 | (円) | 168.13 | 233.29 | 212.76 |
| 1株当たり四半期（当期）純利益 | (円) | 14.94 | 30.54 | 59.85 |

（注）平成26年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。このため、1株当たり純資産及び1株当たり四半期（当期）純利益は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

（2）生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期累計期間の生産実績は、次のとおりであります。

| 事業部門 | 生産高（千円） | 前年同四半期比（％） |
|----------|---------|------------|
| 医療システム事業 | 195,141 | 110.4 |

（注）1. 金額は当期総製造費用によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状況

当第1四半期累計期間の受注状況は、次のとおりであります。

| 事業部門 | 受注高（千円） | 前年同四半期比（％） | 受注残高（千円） | 前年同四半期比（％） |
|----------|---------|------------|----------|------------|
| 医療システム事業 | 574,009 | 102.9 | 301,149 | 115.2 |

（注）上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

| 販売・サービス種類 | 販売高（千円） | 前年同四半期比（％） |
|-----------|---------|------------|
| ソフトウェア | 695,179 | 151.9 |
| ハードウェア | 92,391 | 226.1 |
| サポート等 | 110,993 | 152.9 |
| 合計 | 898,564 | 157.3 |

（注）1. 「サポート等」は、前第1四半期累計期間における「メンテナンス等」の名称のみを変更したものであり、区分等の変更はありません。したがって、前年同四半期比は「メンテナンス等」との対比を記載しております。
2. 当第1四半期累計期間における主な販売先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

| 相手先 | 前第1四半期累計期間 （自平成25年1月1日 至平成25年3月31日） | | 当第1四半期累計期間 （自平成26年1月1日 至平成26年3月31日） | |
|----------------------|---|-------|---|-------|
| | 金額（千円） | 割合（％） | 金額（千円） | 割合（％） |
| 日本電気株式会社 | 82,594 | 14.5 | 165,199 | 18.4 |
| 株式会社富士通アドバンスエンジニアリング | 29,955 | 5.2 | 131,742 | 14.7 |
| 杏林学園 | 57,142 | 10.0 | 2,260 | 0.3 |
| 株式会社ソレキア | 63,500 | 11.1 | 950 | 0.1 |

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。